

社会人のための情報システム誌
 - 経営近代化のシステム研究 -

Computer Report

6

2018 No.765

3 はじめの言葉

4 活用が広がったが故か

昨今のコンピュータ事情

田原文夫

北朝鮮が米国を射程距離とする核弾頭搭載可能な大陸間弾道弾=核ミサイルを開発したとする中、米朝首脳会談が開かれることになったと大騒ぎである。核爆弾数千発は保有しているとされるアメリカと、数発程度の北朝鮮が、見かけ対等な立場で話し合うというのも面白い。文字通りコンピュータの産みの親は「大陸間弾道弾=ミサイルの弾道計算」をするためである。そのコンピュータの平和利用とも言える「商用コンピュータ」が市場に出て来て 70 年余。今やあらゆる分野でコンピュータ活用がされている。周知のとおりである。当初の大規模コンピュータを天文学的に凌ぐ処理能力のコンピュータが、今や誰にでも手に入れることが可能となったからだ。実際なんの捻りも無く、誰でもが大陸間弾道弾を飛ばすための計算ができるようになってきている。それほど身近になったコンピュータ活用現場であるが故ということだろうか、相も変わらず様々な問題/課題が続出している。

10 情報社会を考える その 9 3

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

除名は「はじめの一步」

学生運動という「言葉」すら多くの人々の記憶から薄れ始めているだろう。正確には、学生運動を体験、あるいは傍観してきた世代が、高齢者世代となってしまっている昨今、すでに歴史の彼方に追いやられている言葉かもしれない。日本大学アメリカンフットボール部の学生が、去る 5 月 6 日の関西学院大学との試合の際、試合開始早々、いきなり起こした反則行為事件を巡り、日本中が大騒動になっている。顛末としては、日大の内田正人前監督、井上奨前コーチ二人が、関東学生連盟から除名処分を受け、まずは一段階の処置が終わった。しかし、内田前監督が日大の常務理事(人事担当)であることから、背景には日本大学のトップ経営レベルの問題ありとし、大きくクローズアップされている。すなわち近い将来、日大アメフト部の学生たちおよび今回の処分を行ったアメリカンフットボール関東学生連盟が「あるべき姿としての日大アメフト部」を再確認するには、日本大学経営レベルの刷新/大改革が必要だという指摘/議論が出ている。

12 デジタルガバメント DG 5

デジタル政府の展開 その 5

水田 浩

デジタル化は人々の生活の質を向上させる。2018 年 1 月 16 日に日本政府もデジタルガバメント実行計画を e ガバメント閣僚会議で決定した。この計画は、28 年 1 月 16 日から 2023 年 3 月 31 日までの計画である。2018 年上半期を目途に各府省庁における中長

期の戦略的な計画を策定をする。電子政府は ICT を使って政府側から国民に行政サービスをより早く、より安く、より良くするのが目的だがデジタルガバメントは顧客（国民、企業、職員）側から政府の行政サービスを探し易く、繋がりやすく、何時でも何処からでも誰でも使えることを目的としている。

1 9 連載 アーキテクチャ論 (85)

ArchiMateによる保証ケース

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 大学院 情報学研究科 教授

エンタープライズアーキテクチャと保証ケース手法の関係については、保証ケースでエンタープライズアーキテクチャを高信頼化する方法[1]と ArchiMate[2,3]で記述したエンタープライズアーキテクチャから保証ケースを系統的に作成する方法[4,5,6]を提案した。しかし、これらの方法では保証ケースを記述するために GSN(Goal Structuring Notation)を用いていた。

本稿では、エンタープライズアーキテクチャと保証ケースを共に ArchiMate で表現することにより、両者を統合する方法を明らかにする。まず、保証ケースを ArchiMate で記述する理由について述べる。次いで保証ケースの構成要素に対するメタモデルを説明する。さらに、ArchiMate で保証ケースを表現する 3 つの方法のメタモデルと具体例を明らかにする。

2 9 連載 情報システム考

企業情報システムの変遷と行方 第9回

Dr.ベスト

昨今、クラウド、ビッグデータ、AIなどをベースとした情報システムが社会的規模で普及する中、それらのシステムを各企業規模すなわち自社（社員）レベルでコントロールできない状況へと進展している。換言すれば、「情報システムのコントロール不可、すなわちアウトソーシング依存現象」である。企業にとって情報システムは、企業の神経／血液そのものであり、コンサルタントや弁護士に限定された範囲での業務を委託したり、物流や警備をアウトソーシングするような対象のものではないはずである。

3 6 IT新時代とパラダイム・シフト

第103回 スポーツ障害防止に

ビデオ判定を役立てる時代に

根本忠明

日本大学と関西学院大学のアメフト試合で、日大選手の違反行為の映像が SNS で拡散し、マスコミは日大の監督指示による悪質行為疑惑を、連日批判している。米のプロフットボールでは、2000年代入り選手の脳振盪被害が社会問題化し集団訴訟も起き、選手のスポーツ障害防止が僅々の課題になっている。日本でも死亡事故が報告されている。本稿は、各種スポーツで採用されているビデオ判定を、コンタクトスポーツにおいては、誤審のチェック用だけでなく、違反行為や反則行為防止用として活用すべきことを提案したい。

お知らせ 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

すぎやま先生の体調不良のため、本号は休載とさせていただきます。

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,800円＋税 送料(〒300)
A5版 289頁

石井義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 EHCが必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータウェアハウスの関係と最適化	第八章 データウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータウェアハウス	第九章 データウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとテストド・リレーショナル・モデル	第十章 データウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正則化の問題点とデータウェアハウス	
第六章 データウェアハウス管理システム	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEHCにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構築
第三章 CodeベースによるOLAPプログラムの評価	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析集積の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 381頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動とピクセス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動とピクセス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの
落とし穴

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マテリアル研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM KLEZの蔓延と国家記録
第二章 aism情報セキュリティ研究会の発足	第十二章 メールが騙かGLI
第三章 認知される電子署名方式の基本論	第十三章 任意ネットワーク利用のための認証サーバーの構築
第四章 署名を拒否したCodeRedワーム	第十四章 第五のインターネット防衛戦線心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 1万バグの虫と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 WWW(インターネット)の脅威	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2002年度の事業活動	第十八章 ネット・セキュリティ作戦にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の脅威と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の
情報システム革新

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム監査	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 2,000円＋税 送料(〒300)
A4版 212頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 分散式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の最適化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,400円＋税 送料(〒300)
A5版 280頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広域ビジネスの展開条件	■ 売玉も企業体質
■ ニュースリリースは東方向優先	■ 守るも決めるも広報が窓口
■ 文字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例集」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のタイミング	＜付＞記事とうまく付き合う十六の鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー
—IBM社会に挑んだ国際情報システム作りの物語—

定価 本体 1,800円＋税 送料(〒300)
A5版 269頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本銀行法の思い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米国チーム編組の依頼
第三章 新しシステムへの働き	第十三章 新たな陣営
第四章 WDCに向けて	第十四章 米国チーム編組と新たな編み
第五章 F&C、IBM競争	第十五章 国際チーム編組とリンクアップ
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本銀行編組と本業業務日程
第八章 米国チーム立ち上げの遅れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 探検その一 直前、直前の苦しみ
第十章 米国チーム、勝たぬ三人数	第二十章 探検その二 安定稼働と北米センター稼働

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp